



第16回通常総代会を終えて

代表理事組合長 上田 和久

向暑の候、組合員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしてでしょうか。

組合員の皆様には、平素から森林組合の各業務に対しましてご支援、ご協力を頂き御礼申し上げます。去る5月26日に開催されました第16回通常総代会において提出議案に対し原案通り承認されましたことをご報告させていただきます。

森林組合は、地域の森林を守り育て環境保全と水源涵養保全を守りながら良質な木材を搬出することで資源を循環利用し林業の活性化を目指していますが、近年、森林組合を取巻く環境は、合板用材、木質バイオマス供給用材などの低質材の需要は増加傾向にあるものの、長期に渡る原木価格の低迷、補助事業の更なる減少、公共事業の減少など厳しい状況が続いています。

そのため、当森林組合では職員間での情報の共有や合理的な進め方など業務改善を行い、経費の見直し、無駄、ムラのないようにコスト削減に努めます。また、売り上げ増加に向けた特用林産事業・木材生産事業の体制を検討しながら収益向上を目指し営業努力をしていますが、これから先、益々組合経営は厳しくなっていくことが見込まれるため、将来の設備投資などを考え収益に関しましては内部留保を図り森林組合の体力を温存していきたいと考えています。

一方、明るい情報といたしましては、松阪市の竹上市長の熱い思いで4月17日に松阪市林業支援センターが開設されました。松阪市林業支援センターは、木材流通の出口の増大を図り、素材生産の拡大、木材製品等の販売増を目指し色々な形で営業活動をして頂けると聞いています。当森林組合も行政機関と連携した取り組みを強化し進めて行くことが重要であると思っています。平成30年からは大手合板メーカー、株式会社 日新が多気町で稼働する予定となっていますので、当森林組合も原木の要望に応えるべく出材量を増やして対応したいと考えています。また、国においても国版の森林環境税の議論が進められ平成30年度には結論を得ると明記されたことは更に期待するところです。

これから先、森林組合を取巻く厳しい環境の中、役職員一同、一生懸命事業に取り組んでいく所存でございます。組合員皆様、関係各位の益々のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

総代会提出議案



- 第1号議案 平成28年度事業報告、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 平成29年度事業計画の設定について
- 第3号議案 平成29年度余裕金預け入れ金融機関の決定について
- 第4号議案 平成29年度理事及び監事の報酬の決定について
- 第5号議案 平成29年度組合員に対する貸付金の最高限度額の決定について
- 第6号議案 平成29年度借入金の最高限度決定について
- 第7号議案 退任役員に対する慰労金の支給について
- 第8号議案 定款の一部改正について
- 第9号議案 役員を選任について

総代会出席者数

本人出席	139名
代理出席	1名
書面議決者	50名
合計	190名
出席率	95.0%